

今回の研修旅行は、私にとって初めての東南アジア訪問でした。出発前は、食事が自分に合うのか、現地の人たちときちんと話することができるのかなど、多くの不安がありました。しかし実際に現地を訪れてみると、不安よりも新しい発見や学びの方が多く、とても充実した研修旅行になりました。この研修旅行を通して、海外に対する関心が高まったこと、日本の良さを改めて知ることができたこと、そして自分自身の課題に気づくことができたことが大きな収穫でした。

研修旅行後の自分の変化として最も大きいのは、海外に対する興味や関心が強くなったことです。これまでは海外の出来事についてあまり関心を持つことがありませんでしたが、帰国後は海外のニュースを見る機会が増えました。実際に海外を訪れたことで、世界の出来事をより身近に感じるようになり、もっと多くの国の文化や生活について知りたいと思うようになりました。今回の経験をきっかけに、これからは世界に目を向け、自分の視野を広げていきたいと考えています。

また、この研修旅行を通して日本の良さを改めて実感することができました。特に印象に残っているのは、日本では水道水を安心して飲むことができるという点です。現地では飲み水に注意する必要がありますが、日本の水の安全性の高さを実感しました。また、場所によっては空気があまりきれいではないと感じることもあり、日本の生活環境の整っていることにも気づくことができました。普段の生活では当たり前だと思っていたことが、実はとても恵まれていることなのだと感じ、日本の良さを見直すきっかけになりました。

今回の研修旅行では、キムリエン高校と PSE 高校の生徒との交流が特に印象に残っています。両校の生徒たちは、私たちが到着するとすぐに温かく迎えてくれ、積極的に話しかけてくれました。その姿から、海外の人々の積極性の高さを強く感じました。一方で、私たちは自分から話しかけることがなかなかできず、会話が始まるまで黙ってしまう場面が多くありました。海外の人から日本人は消極的だと言われることがあります。今回の交流を通してその言葉を実感しました。もし自分たちが消極的なままでいたら、相手に楽しくない思いをさせてしまったかもしれないと思い、自分から行動することの大切さを学びました。この経験から、これからは積極的に話しかける勇氣を持ちたいと強く思うようになりました。

この経験から、今の私の目標は英語力を向上させ、海外の人と自信を持ってコミュニケーションを取れるようになることです。研修旅行では、自分の英語が通じたときの喜びを感じる一方で、伝えたいことがあっても言葉が出てこない悔しさも感じました。そのため、これからは英語の授業を大切にしながら、自分から話す機会を増やし、実際に使える英語力を身につけていきたいと考えています。また、学校生活の中でも積極的に行動することを意識し、自分の課題を少しずつ改善していきたいと思います。

帰国後はウィングシェア活動を通して、今回の研修旅行で学んだことや海外の魅力を周りの人に伝えていきたいと考えています。写真やスライドを使いながら、現地の生活の様子や学校交流の経

験、日本との違いなどを分かりやすく紹介したいと思います。また、海外の人々の積極性の高さや、海外に行くことで自分の考え方が変わったことなども伝えたいです。この活動を通して、海外に興味を持つ人が増えたり、将来留学や海外研修に挑戦したいと思う人が増えてほしいと思います。また、自分自身にとっても経験を振り返る良い機会にしたいと考えています。

